

ねんりんピック栃木 2014




特集
A special feature article

ダンススポーツ交流大会

10月5日、大田原市美原の県立県北体育館で「ねんりんピック栃木2014ダンススポーツ交流大会」が行われました。今月の特集は、交流大会の様子を写真とともにお伝えします。

ねんりんピックとは

ねんりんピックとは、「全国健康福祉祭」の愛称です。60歳以上の方々を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができる総合的な祭典です。(ねんりんピック栃木2014公式ホームページより)
厚生省創立50周年を記念して、昭和63(1998)年に、第1回大会が開催されて以来、毎年各道府県を持ち回りで開催されています。



シンボルマーク

ダンススポーツとは

ダンススポーツとは、社交ダンスをより競技化したものです。

そのスポーツ性を強調する意味も込め、2000年ごろから、特に競技として行う場合に「ダンススポーツ」と呼ぶようになりました。

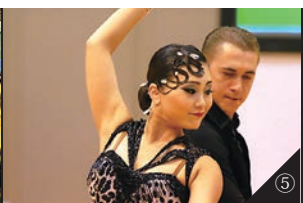
交流大会では、チャチャチャ、ルンバ、ワルツ、タンゴの個人戦4種目と、団体戦が行われました。

大田原市のおもてなし

全国各地から集まった選手の方々のために、大田原市からのおもてなしとして、豚汁と市特産品のブルーベリーを使ったケーキがふるまわれました。

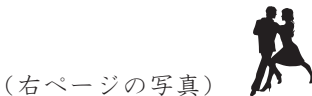
与一太鼓や福原餅つき唄なども披露され、大田原市の伝統文化に触れたという機会にもなりました。白熱したダンス競技も加わり、県北体育館に集まった方々は笑顔を浮かべながら、大田原で熱い一日を過ごしました。

来年のダンススポーツ交流大会は山口県光市で開催されます。





2014.10.5 栃木県立 県北体育館



(右ページの写真)

①大会の開始を告げる与一太鼓の演奏。②選手団をお迎えするアーチ。③伝統の福原餅つき唄を披露。④アトラクションの1つとして、エレガントフラ・ハラウ・オ・フジヌマの方々によるフラダンスが披露されました。⑤圧巻の関根チョーマ・沼田まな美組の模範演技に息をのむ。⑥団体戦では、選手たちはもちろん多くの観客からの声援が飛び交いました。

(左ページの写真)

⑦愛情のこもった応援用のうちわ。選手への応援にも熱が入ります。⑧会場には与一くんも登場。全国から集まった選手たちと触れ合いました。⑨審査の結果を見つめる背中では真剣そのもの。⑩⑪⑫色とりどりの衣装を身にまとってのダンスパフォーマンスは、熱く、華麗で、年齢を感じさせません。⑬柳幸造・柳トミ子ペアの演技。⑭栃木県からはABCの3チームが出場しました。

大田原市から出場された選手の方々です



Comment_コメント

三森 隆志 さん (写真左：パートナー 岩淵万喜さん)
全国の選手と競技を通じて交流し、とても楽しい思い出をつくることができました。
地元開催で友人、知人の応援の多さに感激しました。ダンススポーツの楽しさを少しでも感じていただけたら嬉しいですね。
これからも健康維持のため、さらに上のクラスを目指して練習していきたいと思います。多くの関係者の皆さま、本当にありがとうございました。



Comment_コメント

蜂須賀 民子 さん (写真右：リーダー 蜂須賀香さん)
たくさんの方の応援ありがとうございました。おかげさまで多くの声援が心強く感じられ、楽しくステップを踏み続け、満足できる踊りができました。
地元出場を目標に日々練習を続け、それが現実となり、「ねりんピック栃木」に参加することができたことを大変嬉しく思います。
今後もダンススポーツを継続し、健康で、いつまでも若々しく、美しく、リズミカルなステップを続けていきたいです。

栃木県代表の主な成績

- 個人戦_スタンダードの部(ワルツ) 優勝 柳 幸造・柳 トミ子
- 個人戦_スタンダードの部(タンゴ)第3位 柳 幸造・柳 トミ子
- 第6位 亀山文彦・亀山加代子
- 団体戦 第3位 栃木県A

